

第1回 セルフメディケーション推進に関する有識者検討会

2021年2月3日開催

総論 1 セルフメディケーションと税制の関係性

- ① セルフメディケーションの意義をどのように考えるか
- ② 税制によりOTC医薬品の使用促進を図るべき領域（薬効）をどのように考えるか
⇒ 医療費の適正化効果以外に必要な視点はないか

総論 2 セルフメディケーション税制の効果

- ① 税制による医療費適正化効果の検証を行うための指標は、どのようなものが適切と考えるか
- ② 対象医薬品の範囲の検討に当たっては、医療費適正化効果の検証可能性も考慮すべきではないか

各論 1 対象から除外するもの・必要な経過措置期間

- ① 既に税制の対象になっているスイッチOTCのうち、どのような領域（薬効）のものが医療費適正化の効果が低いと考えられるか
- ② 必要な経過措置の期間をどのように考えるか

各論 2 対象に加えるもの

- ① スイッチOTC以外のOTCで、税制により使用促進を図るべき領域（薬効）をどのように考えるか
- ② どのような領域（薬効）であれば、税制対象範囲の拡大による医療費適正化の効果が著しく高いと考えられるか

論点に対する当協会の考え

セルフメディケーションの意義

【セルフメディケーション推進の3つのメリット】

- ① 疾病の予防・早期発見・早期対処・重症化予防によって、国民の健康寿命を延伸することができる。
- ② 健康寿命の延伸が高齢者の社会参加を促し、労働力の確保と消費の活性化により、経済成長が期待できる。
- ③ 国民の行動変容を促し、限りある医療資源を有効活用することで、社会保障制度を維持することが可能となる。

税制によりOTC医薬品の使用促進を 図るべき領域（薬効）

【あるべき姿】

- ✓ 疾病や世代に対する公平性、生活者や企業の行動に対する中立性の観点、セルフメディケーションを推進するという税制創設の目的から、すべてのOTC医薬品を対象とすべきである。

【あるべき姿に向けた今般のステップとして】

- ✓ 代替性の観点から、医療用医薬品、OTC医薬品、スイッチOTCのいずれの実績もある薬効から選択してはどうか。
- ✓ 現役世代を支援する視点から、薬効を選択してはどうか。
- ✓ 市場の大きい薬効を選択してはどうか。

効果と検証のための指標

【意識の変化と行動変容】

- ✓ 認知度、理解度、利用意向
- ✓ 対処行動（OTC利用、受診など）
- ✓ 健康リテラシーのレベル
- ✓ 軽い症状であればOTC医薬品で対処する、等

【医療費の適正化効果】

- ✓ 医療用医薬品のOTC医薬品への置き換え状況
- ✓ セルメ税制利用群と対象群のレセプトによる医療費比較

【OTC使用に関する評価】

- ✓ 使用日数
- ✓ 対処の利便性（生産性）

【その他】

- ✓ 対象製品の販売金額、市場シェア

認知度と利用意向、意識の変化と行動変容

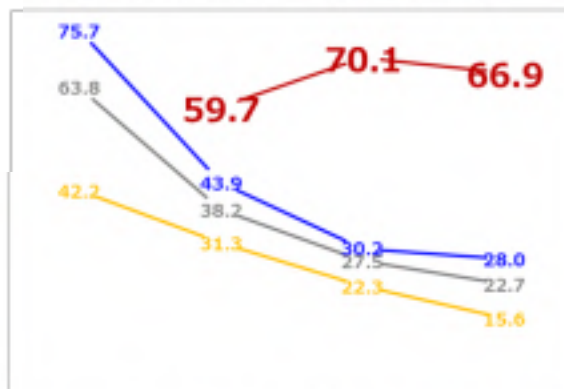
OTC利用による受診1回減で、
医療費は6,820円削減

既存領域★におけるOTCで対応可能な疾患で併発疾患がない場合の受診1回あたり医療費は6,820円。
(OTC薬協調査/2020年11月)

★かぜ症候群、頭痛、腰痛・肩痛、便秘、胸やけ、胃痛、もたれむかつき、鼻炎

税制利用者の行動変容

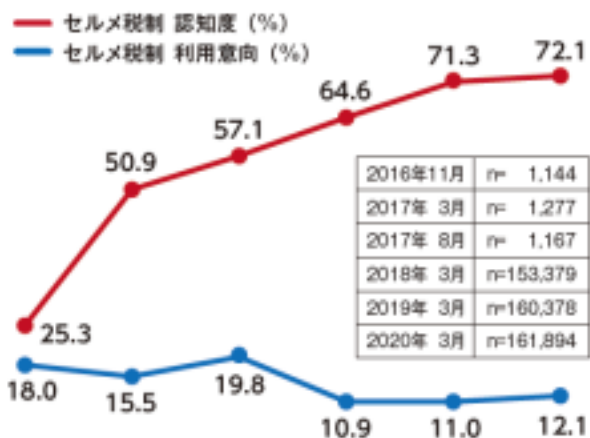
軽い症状であればOTC医薬品で対処する (%)



2017.8 2018.3 2019.3 2020.3
初回申告前 初回申告後 第2回申告後 第3回申告後

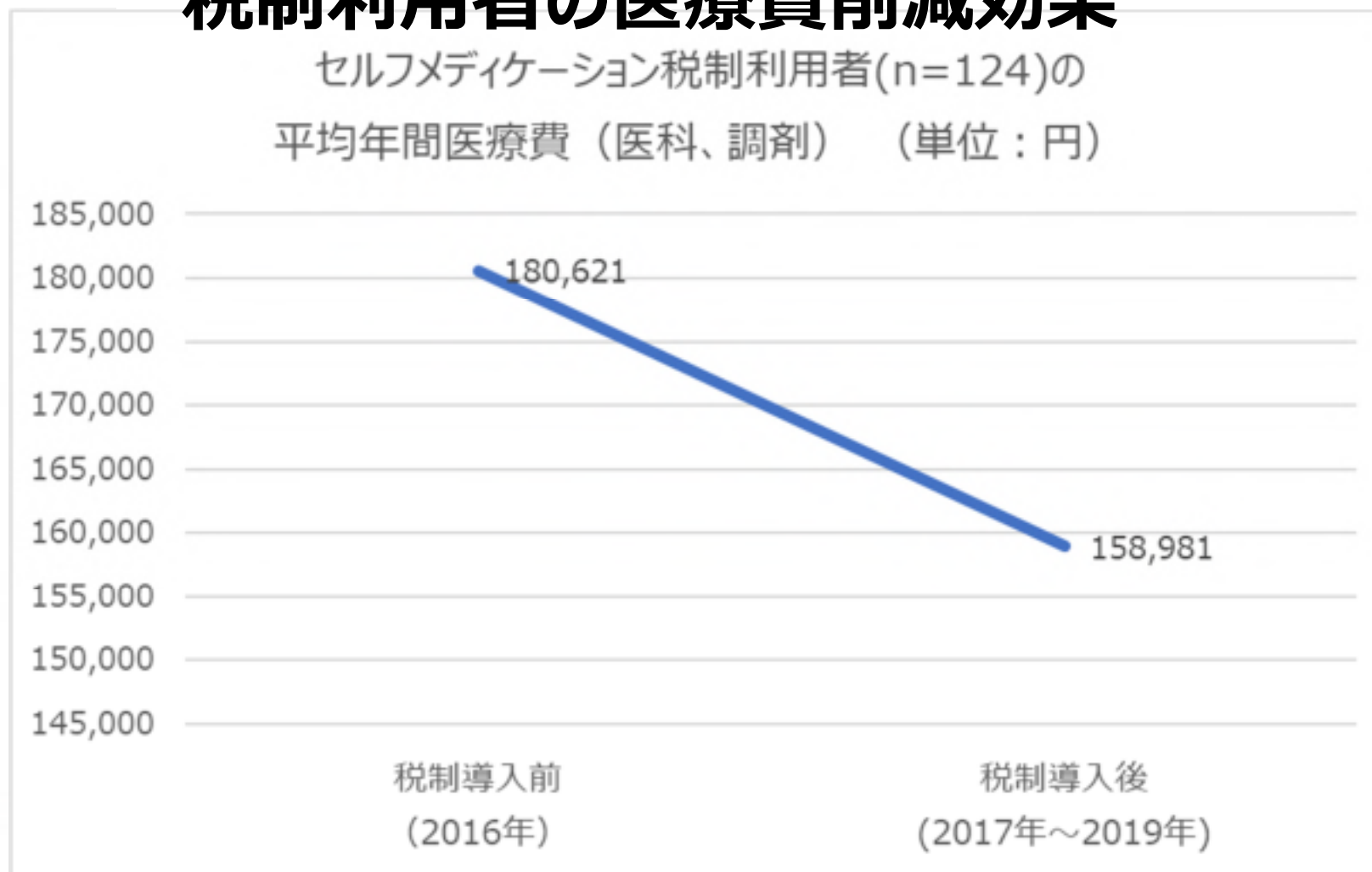
- -TOTAL - -セルメ税制利用
- -セルメ税制理解 - -セルメ税制非認知

認知度は72.1%



税制利用者の医療費削減効果

セルフメディケーション税制利用者(n=124)の
平均年間医療費（医科、調剤）（単位：円）



出所：(株)JMDCによる健康保険組合のレセプト調査（2020年11月）。

(株)JMDCが健康保険組合を通じたアンケート調査によりセルフメディケーション税制利用者を特定して、医療費を調査。調査対象者は約31万人。回答者数6,155名。3年間でセルフメディケーション税制の利用経験者は実数で124名。

除外するもの、経過措置期間

【除外するもの】

- ✓ 特定の薬効を除外すべきではなく、除外するのは成分とすべきではないか。
- ✓ 対象成分の告示後、一定期間、製造販売実績がない成分は対象外としてはどうか。

【必要な経過措置の期間】

- ✓ 経過措置期間は年単位にすべきではないか。
- ✓ 標準的な品質保証期間の3年が妥当ではないか。

✓ 生活者視点で対象範囲を見直すべきではないか。

イブプロフェンは対象だが、アセトアミノフェンは対象外

対象	対象外
バファリンプレミアム 	バファリンA 
バプロンSゴールドW微粒 	バプロンゴールドA <微粒> 

対象	対象外
リンデロンV s 軟膏 	ベトネベートN軟膏A S 
リンデロンV s クリーム 	ベトネベートクリームS 

ベタメタゾン吉草酸エステルは対象だが、対象外となる製品がある

対象に加えるもの

【スイッチOTC以外で使用促進を図るべき薬効】

【範囲拡大による医療費適正化効果が著しく高いと考えられる薬効】

- ✓ 薬効 1 桁の 1、2、4 から 3 薬効程度を選択してはどうか。
- ✓ 薬効 2 桁の 11、13、22、23、26、44 から選択してはどうか。
- ✓ 下記の薬効 3 桁を選択し、生活者が理解できるように、症状別に言い換えてはどうか。

- かぜの諸症状 (114,118,223,224)
- 耳鼻、アレルギーの諸症状 (132,441,449)
- 胃腸の諸症状 (231,232,233,234,235)
- 肩・腰等の腫れ・痛み、湿疹・かゆみの症状 (264)

製品単位では、複数の薬効成分を有している

例：ベンザブロックSプレミアム錠（かぜ薬）

はたらき	成分
発熱やさむけを緩和し、痛みを和らげる	アセトアミノフェン
鼻水を和らげる	ヨウ化イソプロパミド
鼻水・くしゃみを和らげる	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩
のどの痛みを和らげる	トラネキサム酸
せきを和らげる	ジヒドロコデインリン酸塩
せき・たんを和らげる	dl-メチルエフェドリン塩酸塩
たんを排出しやすくする	グアイフェネシン
頭痛を和らげる	無水カフェイン
ビタミン	リボフラビン（ビタミンB2）
ビタミン類（ビタミンPの一種）	ヘスペリジン



成分単位では、複数の薬効にかかわりがある

薬効分類コード	114	118	132 441 449	223 224
---------	-----	-----	-------------------	------------

☆		アスピリン	○	○		
☆		アセトアミノフェン	○	○		
☆	★	イブプロフェン	○	○		
☆		エテンザミド	○	○		
☆		カフェイン水和物	○	○	○	○
☆		カンゾウ	○	○		○

【対象成分の告示】

✓2021年3月末までに対象成分を告示していただきたい。

	3月	4月	5月	6月	7月	~	1月
告示	○						
包装材料		改版⇒	印刷⇒	工場納品			
生産 (かぜ薬)					下期許可分 生産開始	生産	出荷

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
現行制度	○					
新制度		◎	◎	◎	◎	◎

111 全身麻酔剤	243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤	329 その他の滋養強壮薬	625 抗ウイルス剤
112 催眠鎮静剤, 抗不安剤	244 たん白同化ステロイド剤	331 血液代用剤	629 その他の化学療法剤
113 抗てんかん剤	245 副腎ホルモン剤	332 止血剤	631 ワクチン類
114 解熱鎮痛消炎剤	246 男性ホルモン剤	333 血液凝固阻止剤	632 毒素及びトキシノイド類
115 興奮剤, 覚せい剤	247 卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤	339 その他の血液・体液用薬	633 抗毒素類及び抗レプトスピラ血清類
116 抗パーキンソン剤	248 混合ホルモン剤	341 人工腎臓透析用剤	634 血液製剤類
117 精神神経用剤	249 その他のホルモン剤 (抗ホルモン剤を含む。)	342 腹膜透析用剤	635 生物学的試験用製剤類
118 総合感冒剤	251 泌尿器官用剤	349 その他の人工透析用薬	636 混合生物学的製剤
119 その他の中枢神経系用薬	252 生殖器官用剤 (性病予防剤を含む。)	391 肝臓疾患用剤	639 その他の生物学的製剤
121 局所麻酔剤	253 子宮収縮剤	392 解毒剤	641 抗原虫剤
122 骨格筋弛緩剤	254 避妊剤	393 習慣性中毒用剤	642 駆虫剤
123 自律神経剤	255 痔疾用剤	394 痛風治療剤	649 その他の寄生動物用薬
124 鎮けい剤	259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	395 酵素製剤	690 その他の病原生物に対する医薬品
125 発汗剤, 止汗剤	261 外用殺菌消毒剤	396 糖尿病用剤	711 賦形剤
129 その他の末梢神経系用薬	262 創傷保護剤	397 総合代謝性製剤	712 軟膏基剤
131 眼科用剤	263 化膿性疾患用剤	399 他に分類されない代謝性医薬品	713 溶解剤
132 耳鼻科用剤	264 鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	411 クロコフィル製剤	714 矯味, 矯臭, 着色剤
133 鎮暈剤	265 寄生性皮膚疾患用剤	412 色素製剤	715 乳化剤
139 その他の感覚器官用薬	266 皮ふ軟化剤 (腐しよ剤を含む。)	419 その他の細胞賦活用薬	719 その他の調剤用薬
211 強心剤	267 毛髪用剤 (発毛剤, 脱毛剤, 染毛剤, 養毛剤)	421 アルキル化剤	721 X線造影剤
212 不整脈用剤	268 浴剤	422 代謝拮抗剤	722 機能検査用試薬
213 利尿剤	269 その他の外用薬	423 抗腫瘍性抗生物質製剤	729 その他の診断用薬 (体外診断用医薬品を除く。)
214 血圧降下剤	271 歯科用局所麻酔剤	424 抗腫瘍性植物成分製剤	731 防腐剤
215 血管補強剤	272 歯髄失活剤	429 その他の腫瘍用薬	732 防疫用殺菌消毒剤
216 血管収縮剤	273 歯科用鎮痛鎮静剤 (根管及び髄窩消毒剤を含む。)	430 放射性医薬品	733 防虫剤
217 血管拡張剤	274 歯髄乾屍剤 (根管充填剤を含む。)	441 抗ヒスタミン剤	734 殺虫剤
218 高脂血症用剤	275 歯髄覆たく剤	442 刺激療法剤	735 殺そ剤
219 その他の循環器官用薬	276 歯科用抗生物質製剤	443 非特異性免疫原製剤	739 その他の公衆衛生用薬
221 呼吸促進剤	279 その他の歯科口腔用薬	449 その他のアレルギー用薬	741 一般検査用試薬
222 鎮咳剤	290 その他の個々の器官系用医薬品	490 その他の組織細胞機能用医薬品	742 血液検査用試薬
223 去たん剤	311 ビタミンA及びD剤	510 生薬	743 生化学的検査用試薬
224 鎮咳去たん剤	312 ビタミンB 1 剤	520 漢方製剤	744 免疫血清学的検査用試薬
225 気管支拡張剤	313 ビタミンB 剤 (ビタミンB 1 剤を除く。)	590 その他の生薬及び漢方処方にに基づく医薬品	745 細菌学的検査用薬
226 含嗽剤	314 ビタミンC 剤	611 主としてグラム陽性菌に作用するもの	746 病理組織検査用薬
229 その他の呼吸器官用薬	315 ビタミンE 剤	612 主としてグラム陰性菌に作用するもの	747 体外診断用放射性医薬品
231 止しゃ剤, 整腸剤	316 ビタミンK 剤	613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	749 その他の体外診断用医薬品
232 消化性潰瘍用剤	317 混合ビタミン剤 (ビタミンA・D 混合製剤を除く。)	614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの	791 ばん創ごう
233 健胃消化剤	319 その他のビタミン剤	615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの	799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品
234 制酸剤	321 カルシウム剤	616 主として抗酸菌に作用するもの	811 あへんアルカロイド系麻薬
235 下剤, 浣腸剤	322 無機質製剤	617 主としてカビに作用するもの	812 コカルカロイド系製剤
236 利胆剤	323 糖類剤	619 その他の抗生物質製剤 (複合抗生物質製剤を含む。)	819 その他のアルカロイド系麻薬 (天然麻薬)
237 複合胃腸剤	324 有機酸製剤	621 サルファ剤	821 合成麻薬
239 その他の消化器官用薬	325 たん白アミノ酸製剤	622 抗結核剤	829 その他の非アルカロイド系麻薬
241 脳下垂体ホルモン剤	326 臓器製剤	623 抗ハンセン病剤	999 薬効不明
242 唾液腺ホルモン剤	327 乳幼児用剤	624 合成抗菌剤	

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 11 中枢神経系用薬 | 43 放射性医薬品 |
| 12 末梢神経系用薬 | 44 アレルギー用薬 |
| 13 感覚器官用薬 | 49 その他の組織細胞機能用医薬品 |
| 21 循環器官用薬 | 51 生薬 |
| 22 呼吸器官用薬 | 52 漢方製剤 |
| 23 消化器官用薬 | 59 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 |
| 24 ホルモン剤 | 61 抗生物質製剤 |
| 25 泌尿生殖器官及び肛門用薬 | 62 化学療法剤 |
| 26 外皮用薬 | 63 生物学的製剤 |
| 27 歯科口腔用薬 | 64 寄生動物用薬 |
| 29 その他の個々の器官系用医薬品 | 69 その他の病原生物に対する医薬品 |
| 31 ビタミン剤 | 71 調剤用薬 |
| 32 滋養強壮薬 | 72 診断用薬 (体外診断用医薬品を除く) |
| 33 血液・体液用薬 | 73 公衆衛生用薬 |
| 34 人工透析用薬 | 74 体外診断用医薬品 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 79 その他の治療を主目的としない医薬品 |
| 41 細胞賦活用薬 | 81 アルカロイド系麻薬 (天然麻薬) |
| 42 腫瘍用薬 | 82 非アルカロイド系麻薬 |



- 1 神経系及び感覚器官用医薬品
- 2 個々の器官系用医薬品
- 3 代謝性医薬品
- 4 組織細胞機能用医薬品
- 5 生薬及び漢方処方に基づく医薬品
- 6 病原生物に対する医薬品
- 7 治療を主目的としない医薬品
- 8 麻薬

	販売金額(百万円)			構成比		薬効分類
	OTC計	スイッチOTC	非スイッチOTC	スイッチOTC	非スイッチOTC	
OTC計	914,685	219,060	695,625	24%	76%	
目薬	72,476	5,477	66,999	8%	92%	
皮膚用薬 (除殺菌)	83,394	20,095	63,299	24%	76%	264
漢方薬	62,183		62,183		100%	
滋養強壯剤	41,816		41,816		100%	
ミドリリンク剤	40,125		40,125		100%	
総合感冒薬	76,992	40,784	36,208	53%	47%	118
胃腸薬	44,544	9,131	35,412	20%	80%	232・233・234
外用鎮痛・消炎剤	69,606	39,503	30,103	57%	43%	264
ビタミンB1剤	30,205	3,480	26,724	12%	88%	
便秘薬	24,138	136	24,002	1%	99%	235
鎮咳去痰剤	25,112	3,685	21,427	15%	85%	223・224
鼻炎治療剤	43,931	23,728	20,203	54%	46%	132
総合ビタミン剤	21,941	3,243	18,698	15%	85%	
毛髪用剤	16,749		16,749		100%	
整腸薬	17,161	708	16,453	4%	96%	231
解熱鎮痛剤	61,228	44,820	16,409	73%	27%	114
口腔用薬	13,731		13,731		100%	
痔疾用剤	13,034		13,034		100%	
その他の医薬品	18,867	6,136	12,731	33%	67%	
殺菌消毒剤	11,994		11,994		100%	
ビタミンC剤	11,462		11,462		100%	
薬用酒	11,426		11,426		100%	

	販売金額(百万円)			構成比		薬効分類
	OTC計	スイッチOTC	非スイッチOTC	スイッチOTC	非スイッチOTC	
OTC計	914,685	219,060	695,625	24%	76%	
うがい薬	10,720		10,720		100%	
ドリンク剤	8,478		8,478		100%	
歯槽膿漏治療剤	8,044		8,044		100%	
その他感覚器官外皮	11,967	4,144	7,823	35%	65%	
催眠鎮静剤	6,581		6,581		100%	
女性用保健薬	6,448		6,448		100%	
検査薬	5,945		5,945		100%	
燻煙殺虫剤	5,842		5,842		100%	
強心剤	5,607	60	5,547	1%	99%	
浣腸剤	5,221		5,221		100%	
鎮暈剤	3,726		3,726		100%	
ビタミンE剤	2,182		2,182		100%	
アレルギー用薬	3,479	1,417	2,062	41%	59%	441・449
殺虫剤(除燻煙)	1,984		1,984		100%	
カルシウム剤	1,272		1,272		100%	
水虫治療薬	13,691	12,500	1,191	91%	9%	
眠気防止剤	946		946		100%	
その他消化器官系薬	304	12	292	4%	96%	
小児五疳薬	132		132		100%	
		スイッチOTC	拡大薬効	対象品の構成比		
		219,060	265,579	53%		

製品1個あたりの価格（円）

	スイッチOTC	非スイッチOTC
合計	1,234	994
総合ビタミン剤	3,321	1,599
ビタミンB 1 剤	3,019	3,228
総合感冒薬	1,466	965
鼻炎治療剤	1,969	923
アレルギー用薬	1,064	1,363
解熱鎮痛剤	827	843
鎮咳去痰剤	1,187	724
胃腸薬	1,161	1,014
整腸薬	990	1,097
便秘薬	884	1,239
その他消化器官系薬	1,723	1,235
外用鎮痛・消炎剤	1,302	744
皮膚用薬（除殺菌）	1,079	830
水虫治療薬	1,398	1,109
目薬	1,342	571
その他感覚器官外皮	1,020	775
強心剤	4,695	3,387
禁煙補助剤	3,352	—
その他の医薬品	1,785	600

製品1個あたりの価格（円）

	スイッチOTC	非スイッチOTC
合計	1,234	994
ドリンク剤	—	548
ミニドリンク剤	—	1,102
滋養強壮剤	—	3,914
ビタミンC 剤	—	1,780
ビタミンE 剤	—	3,268
女性用保健薬	—	1,902
カルシウム剤	—	3,062
漢方薬	—	1,645
薬用酒	—	1,942
口腔用薬	—	799
うがい薬	—	734
鎮量剤	—	600
催眠鎮静剤	—	1,351
眠気防止剤	—	418
痔疾用剤	—	1,299
歯槽膿漏治療剤	—	1,045
浣腸剤	—	463
殺菌消毒剤	—	492
毛髪用剤	—	5,761
検査薬	—	957
小児五疳薬	—	1,299
殺虫剤（除燻煙）	—	1,135
燻煙殺虫剤	—	1,033